

大阪重点犯罪と署指定犯罪

「大阪重点犯罪」と「署指定犯罪」を対象とした「地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策」について、検挙及び防犯の両面にわたる総合的な警察活動を戦略的に展開するとともに、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪体制で犯罪の起きにくい安全なまちづくりを推進しています。

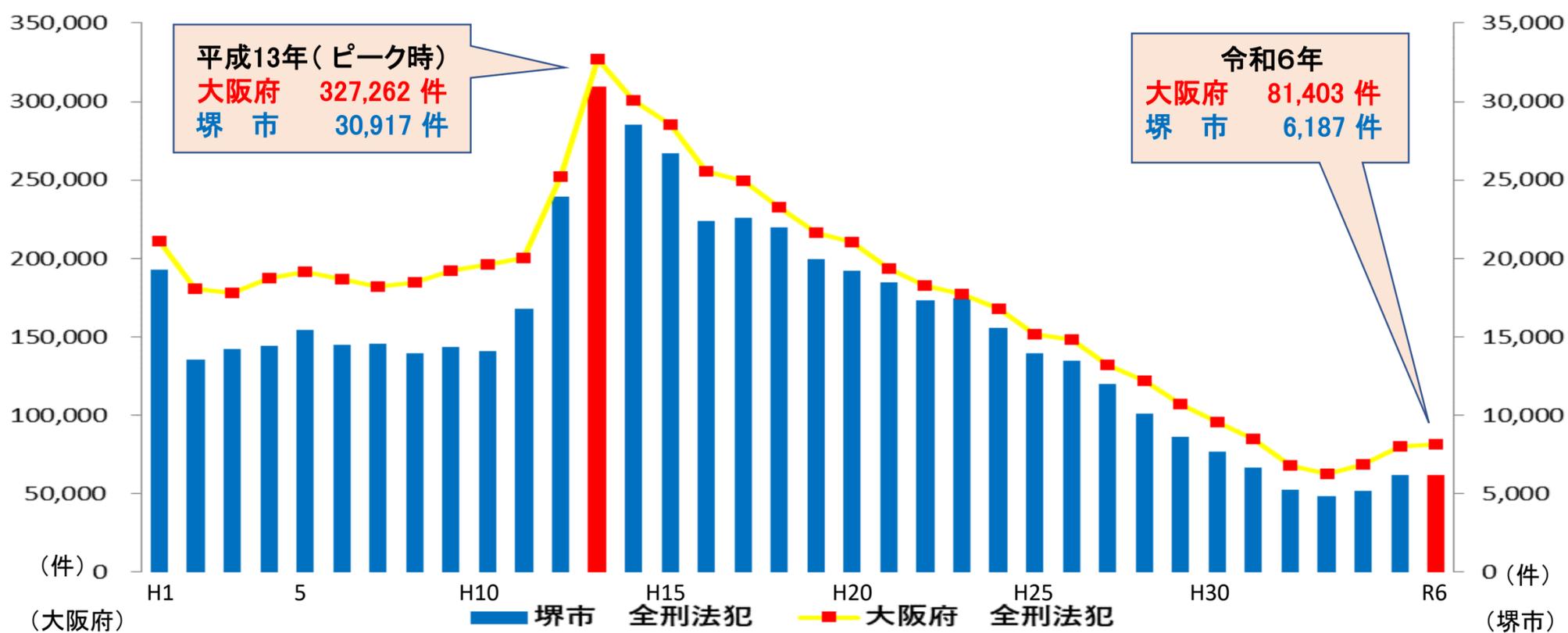
大阪重点犯罪

- 性犯罪
(不同意性交等・不同意わいせつ・公然わいせつ・痴漢)
- 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺
- 自動車関連犯罪
(自動車盗・車上ねらい・部品ねらい)

署指定犯罪

大阪重点犯罪以外で、警察署管内の発生状況から地域住民等の安全・安心を脅かし、課題等となっている犯罪のうちから、警察署長が指定する犯罪

刑法犯認知件数の推移(大阪府・堺市)



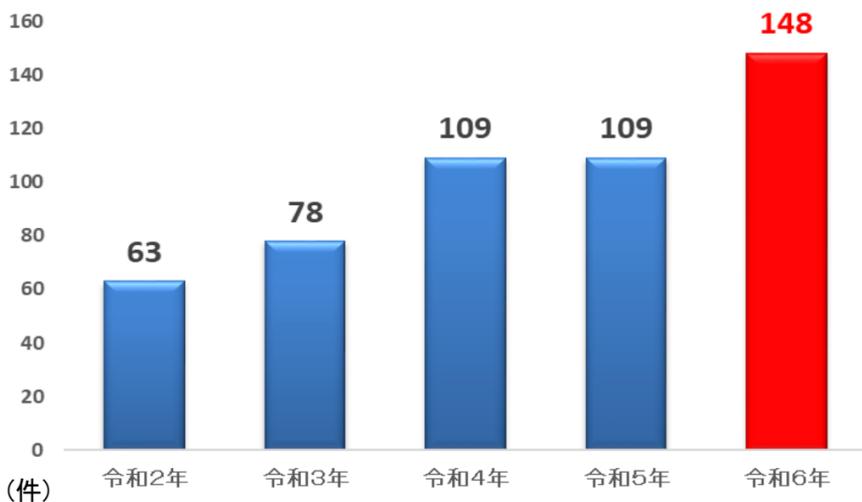
堺市における主な刑法犯認知件数

	全刑法犯	性犯罪	自動車関連犯罪			特殊詐欺	
			自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	被害金額(千円)	
令和5年	6,173	109	52	305	346	206	463,832
令和6年	6,187	148	48	212	214	268	467,235
(対前年増減率)	+0.2%	+35.8%	-7.7%	-30.5%	-38.2%	+30.1%	+0.7%
府全体の件数	81,403	1,558	417	3,064	2,504	2,644	6,084,574
府全体に占める割合	7.6%	9.5%	11.5%	6.9%	8.5%	10.1%	7.7%
令和6年6月末	2,936	74	24	106	116	123	198,087
令和7年6月末	3,315	59	42	144	170	165	477,306
(対前年増減率)	+12.9%	-20.3%	+75.0%	+35.8%	+46.6%	+34.1%	+141.0%
府全体の件数	40,298	736	327	1,527	1,304	1,626	4,968,621
府全体に占める割合	8.2%	8.0%	12.8%	9.4%	13.0%	10.1%	9.6%

※ 令和7年6月末の数値は、速報値を示す。

堺市の性犯罪の情勢

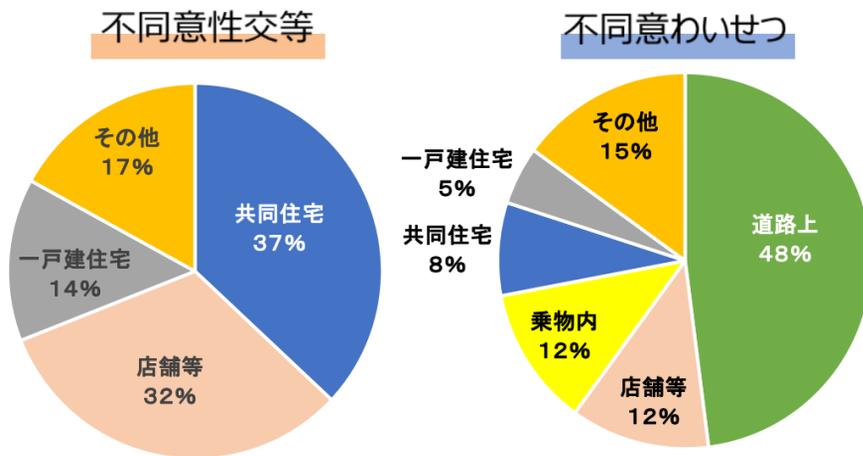
認知件数 推移(過去5年)



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
性犯罪	63	78	109	109	148

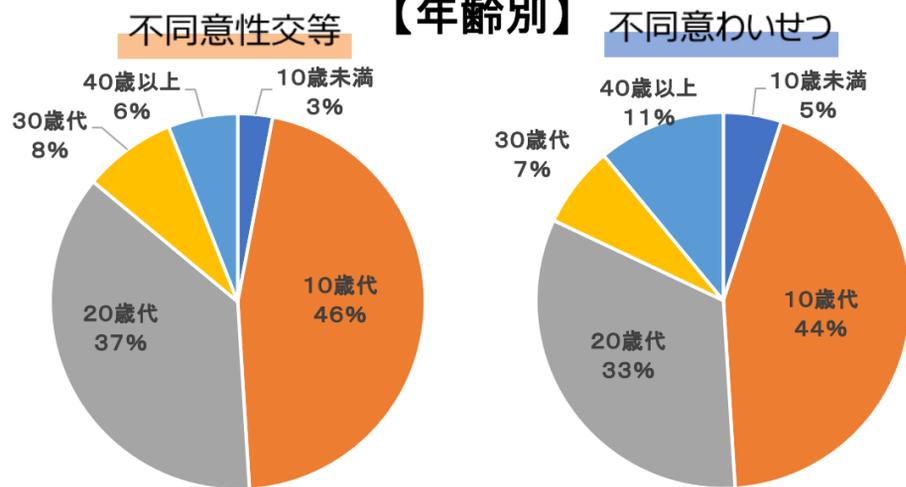
※ 性犯罪は、「不同意性交等、不同意わいせつ、公然わいせつ」の合計を表す。

【場所別】



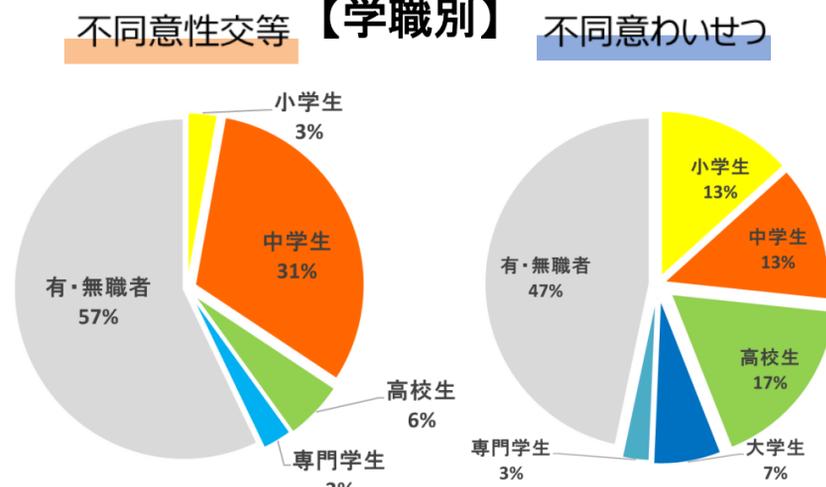
不同意性交等については、共同住宅、店舗等で多く発生しており、不同意わいせつについては、道路上、店舗等、乗物内で多く発生している。

【年齢別】



不同意性交等の約83%、不同意わいせつ約77%が10歳代、20歳代の若年層の被害となっている。

【学職別】



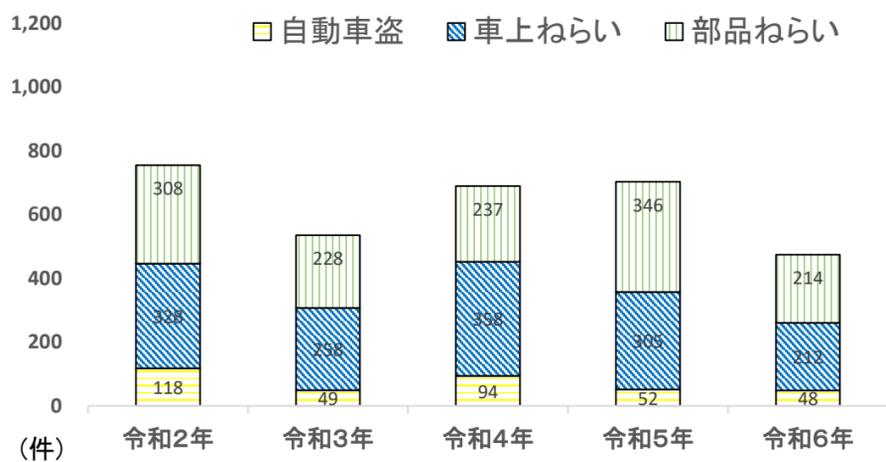
不同意性交等の約43%、不同意わいせつの約53%が学生の被害となっている。

【総評(令和6年中)】

- 性犯罪の総数は昨年と比較して39件の増加となった。
- 性犯罪(不同意性交等、不同意わいせつ)被害者は、年齢別では10歳代が最も多く、学生の被害の中では中学生、高校生の被害が多い。

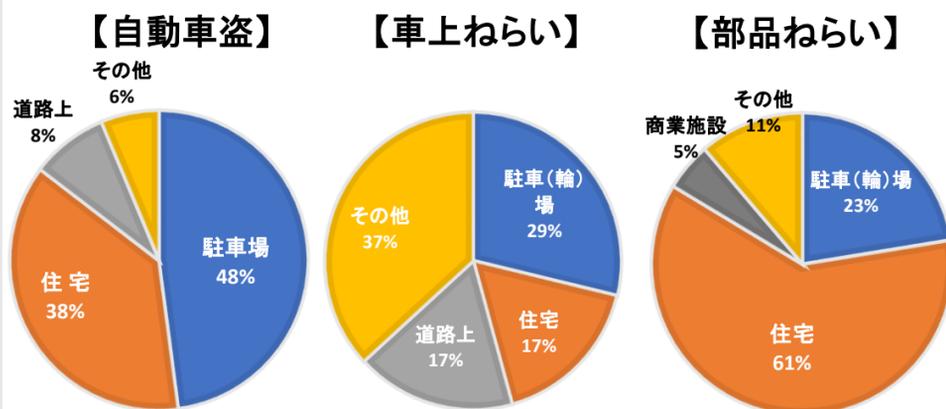
堺市の自動車関連犯罪の情勢

認知件数 推移(過去5年)



	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総数	754	535	689	703	474
自動車盗	118	49	94	52	48
車上ねらい	328	258	358	305	212
部品ねらい	308	228	237	346	214

被害場所別(令和6年中)



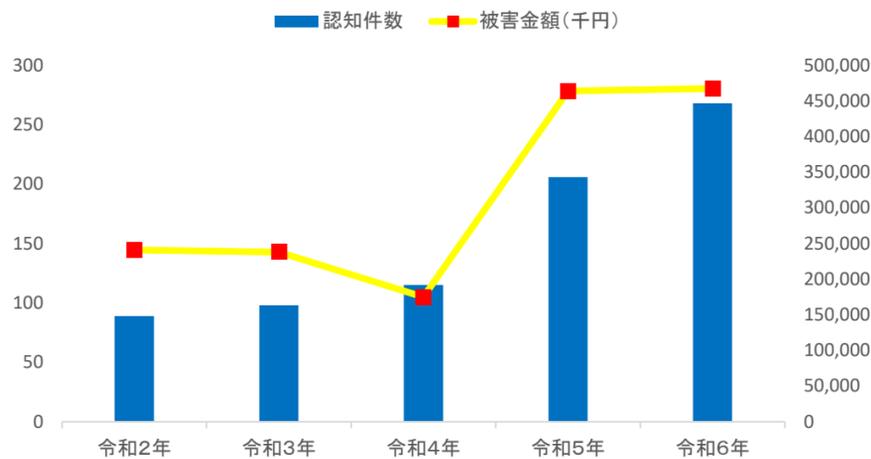
【まとめ(令和6年中)】

- 自動車盗の認知件数は48件、前年比4件(7.7%)減少した。車上ねらいの認知件数は212件、前年比93件(30.5%)減少した。部品ねらいの認知件数は214件、前年比132件(38.2%)減少した。
- 被害場所は、自動車盗の多くが月極や住宅の駐車場、車上ねらいでは、駐車(輪)場での被害が多く、部品ねらいは、駐車(輪)場や住宅敷地内での被害が多かった。

堺市の特殊詐欺の情勢

認知件数・被害金額の推移(過去5年)

		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
認知件数	堺市	89	98	115	206	268
	大阪府	1,107	1,538	2,064	2,656	2,644
被害金額	堺市	2億4,079万	2億3,805万	1億7,480万	4億6,383万	4億6,724万
	大阪府	22億4,806万	24億1,441万	31億9,115万	36億6,140万	60億8,457万

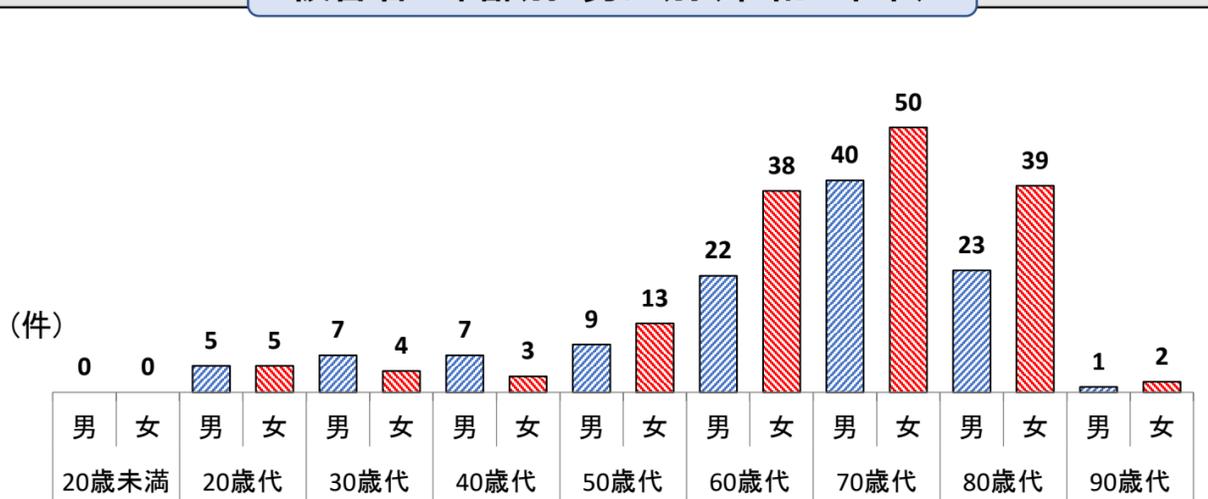


手口別被害状況(1~6月)

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した数値を表す。

	認知件数				被害金額			
	令和7年 (6月末)	令和6年 (6月末)	増減		令和7年 (6月末)	令和6年 (6月末)	増減	
			件数	増減率			増減額	増減率
特殊詐欺全体	165	123	+42	+34%	4億7,731万	1億9,809万	+2億7,922万	+141%
オレオレ詐欺	36	12	+24	+200%	2億6,865万	4,221万	+2億2,644万	+537%
預貯金詐欺	4	6	-2	-33%	173万	152万	+22万	+14%
架空料金請求詐欺	48	39	+9	+23%	6,768万	6,652万	+116万	+2%
融資保証金詐欺	4	0	+4	-	273万	0万	+273万	-
還付金詐欺	66	53	+13	+25%	1億3,089万	7,091万	+5,998万	+85%
キャッシュカード詐欺盗	4	11	-7	-64%	235万	1,013万	-779万	-77%
上記以外	3	2	+1	+50%	328万	680万	-352万	-52%

被害者 年齢別・男女別(令和6年中)

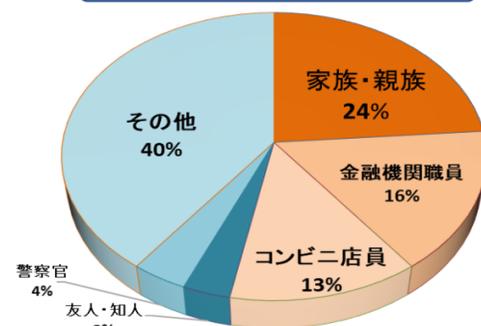


予兆電話(アポ電)・第三者による未然防止件数

	令和4年	令和5年	令和6年
アポ電	542	625	940
未然防止	88	154	181

※ アポ電とは、特殊詐欺の犯人が発信した電話(メール、封書等も含む)のこと。

未然防止者の内訳(令和6年中)



※ その他には、自治体職員、百貨店店員、警備員等を含む。

【まとめ(令和6年中)】

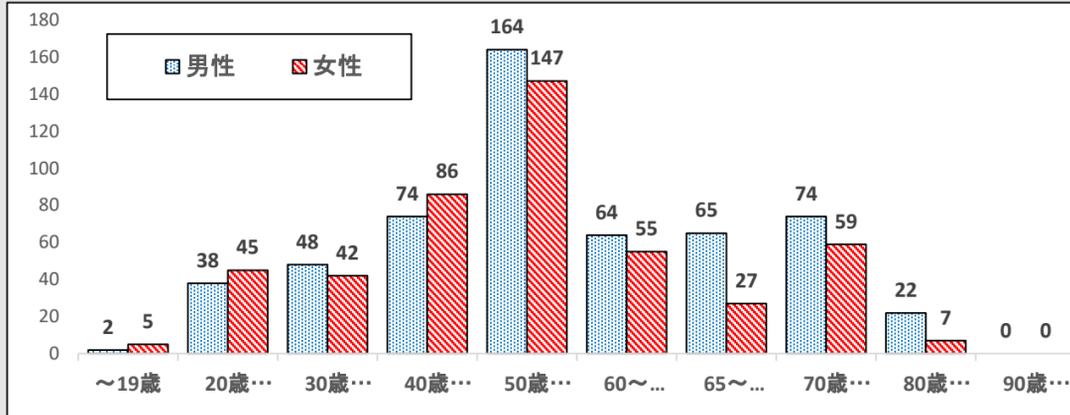
- 認知件数は、268件で前年比62件(30.1%)増加した。
- 被害金額は、約4億6724万円で前年比約341万円(0.7%)増加した。
- 1件あたりの被害金額は、約174万円、1日あたりの被害金額は、約128万円であった。
- 手口別で大きく増加したのはオレオレ詐欺で、認知件数32件(前年比22件)、被害金額約1億4,607万円(前年比約8,822万円)で、警察官等を騙る手口が増加した。

大阪府のSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の情勢

※ 被害金額は、千の位を四捨五入した数値を表す。

大阪府全体	認知件数				被害金額			
	令和6年	令和5年	増減		令和6年	令和5年	増減	増減率
			件数	増減率				
SNS型投資・ロマンス詐欺	1,024	419	+605	+144%	127億3,215万	49億219万	+78億2,996万	+160%
SNS型投資詐欺	772	256	+516	+202%	92億8,828万	31億8,157万	+61億671万	+192%
SNS型ロマンス詐欺 (投資名目)	157	-	-	-	29億1,171万	-	-	-
SNS型ロマンス詐欺 (その他のロマンス名目)	95	163	-68	-42%	5億3,216万	17億2,062万	-11億8,846万	-69%

被害者 年齢別・男女別(令和6年中)

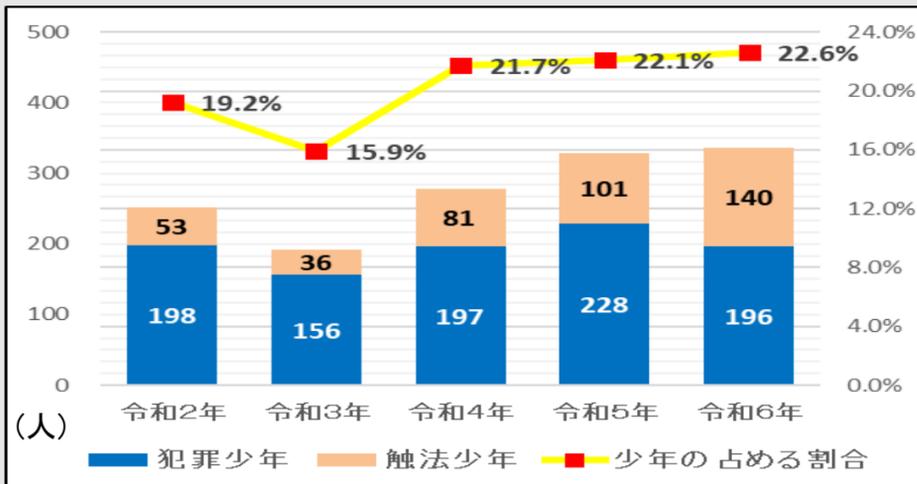


【まとめ(令和6年中)】

- 認知件数は、1,024件で前年比605件(144%)増加した。
- 被害金額は、約127億円で前年比約78億円(160%)増加した。
- 1件あたりの被害金額は、約1,240万円、1日あたりの被害金額は、約3,500万円であった。
- 被害者の年齢層は、50歳代の被害が多く、被害全体の約30%を占めた。

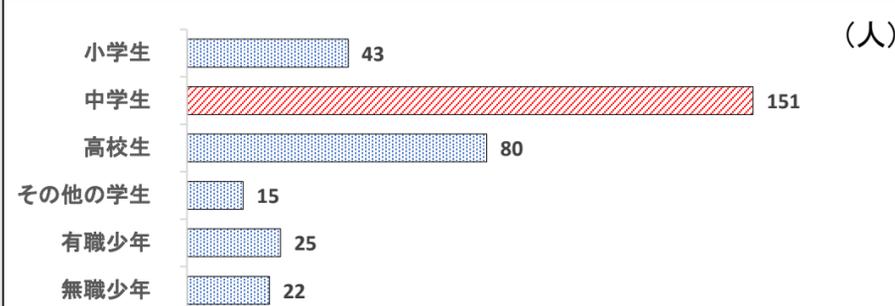
堺市内6警察署の少年非行の情勢

刑法犯少年 検挙・補導人員の推移(過去5年)

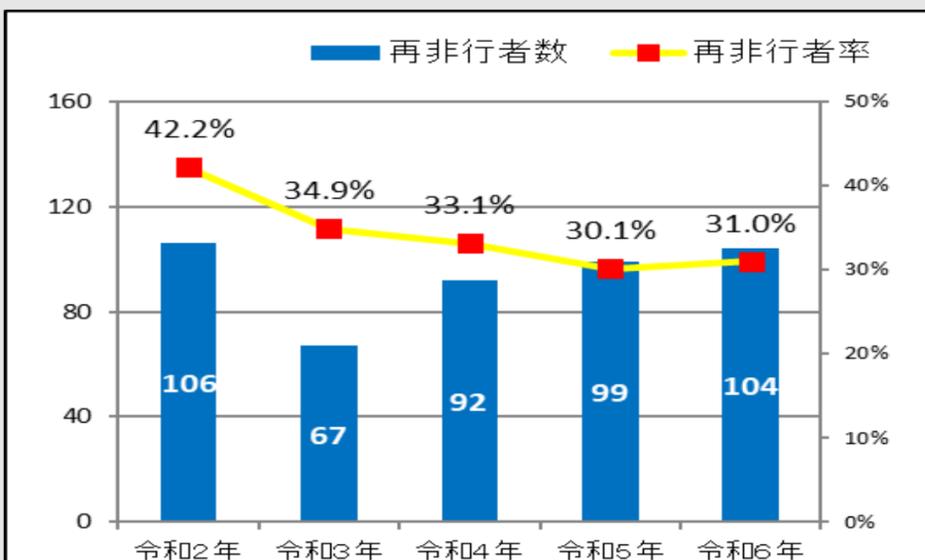


- 少年 …… 20歳未満の者をいう。
- 犯罪少年 …… 犯罪行為をした14歳以上の少年をいう。
- 触法少年 …… 刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年をいう。
- 少年の占める割合 …… 刑法犯で検挙(成人を含む)又は補導した人員のうち、少年の占める割合をいう。

刑法犯少年 検挙・補導人員 学職別(令和6年中)



刑法犯少年 再非行者数・再非行者率の推移(過去5年)



- 再非行者率 …… 犯罪少年・触法少年のうち、過去に何らかの非行を犯し、検挙・補導されたことのある少年の割合をいう。

刑法犯少年 検挙・補導人員

刑法犯(罪種別)	令和5年	令和6年	前年比
少年総数	329	336	+7
凶悪犯	12	12	±0
殺人	1	1	±0
強盗	2	7	+5
放火	5	3	-2
不同意性交等	4	1	-3
粗暴犯	74	61	-13
暴行	23	18	-5
傷害	47	33	-14
脅迫	3	4	+1
恐喝	1	6	+5
窃盗犯	158	185	+27
自動車盗	0	0	±0
オートバイ盗	23	34	+11
自転車盗	21	48	+27
ひったくり	3	3	±0
車上ねらい	12	3	-9
部品ねらい	10	9	-1
万引き	61	67	+6
その他	28	21	-7
知能犯	4	8	+4
詐欺	3	5	+2
その他	1	3	+2
風俗犯	15	21	+6
その他の刑法犯	66	49	-17
占有離脱物横領	12	16	+4
その他	54	33	-21
特殊詐欺	1	2	+1

特別法犯少年 検挙・補導人員(R5とR6の比較)

特別法犯(罪種別)	令和5年	令和6年	前年比
少年総数	89	64	-25
軽犯罪法	39	34	-5
大麻取締法	13	16	+3
覚醒剤取締法	0	1	+1
銃刀法	6	1	-5
児童買春・児童ポルノ法	3	4	+1
迷惑防止条例	12	0	-12
青少年保護育成	11	3	-8
その他	5	5	±0

【まとめ(令和6年中)】

- 刑法犯少年の検挙・補導人員は336人で、前年より7人(約2.1%)増加した。
- 刑法犯では、粗暴犯はわずかに減少し、窃盗犯、知能犯は増加した。
- 少年の学職別では、中学生が約44.9%で、高校生と合わせると約7割を占めた。
- 刑法犯少年の再非行者数は、104人で、前年比で5人(約5.1%)増加した。
- 特別法犯では、少年の大麻取締法等の薬物事犯が増加し、迷惑防止条例等の検挙・補導人員は減少した。